

2020年12月17日

学生・教職員各位

総務部健康支援課（保健室）

年末年始における忘年会・新年会・成人式等及び帰省の留意事項について

私達は、新型コロナウイルス感染症が流行してから初めての冬を迎えることとなります。年末年始は我々の社会にとって特別な時期ですが、命と暮らしを守るためには、社会を構成する一人ひとりが年末年始を静かに過ごすことが求められます。学生・教職員の皆様の節度ある行動をお願いいたします。

【年末年始を静かに過ごす工夫例】

I. 忘年会・新年会、成人式など

- ・会食をするのであれば、①少人数・短時間で②なるべく普段一緒にいる人と③適度な酒量で（未成年は厳禁）
- ・箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。
- ・座の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）。
（食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。）
- ・食べるときだけマスクを外し、会話の時はマスク着用。
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドラインを遵守したお店で。
- ・体調が悪い人は参加しない。

II. 初詣

混雑する時期を避けて、境内での三密や、参拝後の混雑をできる限り避けるなど、感染防止策の徹底をはかる。

III. 年末年始の帰省

三密回避を含め基本的な感染防止策を徹底するとともに、特に大人数の会食を控えるなど、高齢者等への感染につながらないように注意する。

そうした対応が難しいと判断される場合は、帰省について慎重に検討する。特に発熱等の症状がある方などは、帰省を控える。

帰省される場合には、年末年始の混雑する時期を避けることも検討する。